

講義名	日本語資格試験講座 【N2対策】			授業形態	
担当教員	勝田 順子	開講期・曜日・時限	後期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

主題と概要

日本語能力試験N2合格に必要な基礎力の向上を目指して、日本語の言語知識（文字・語彙・文法）、読解、聴解について、総合的に学習する。毎回の授業で、N2の問題を解いてもらい、それに関して詳しく解説する。

到達目標

日本語能力試験N2における日本語の言語知識（文字・語彙・文法）、読解、聴解を確実に身につけ、活用することができるようになる。

提出課題

授業時に指示する。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

授業時に指示する。

評価の基準

- ・授業の参加度（30％）
- ・中間試験（30％）
- ・期末試験（40％）

履修にあたっての注意・助言他

- ・全授業回数の1/3（5回）以上欠席した場合は、期末試験を受けることができない。
- ・15分以上の遅刻は欠席とみなす。

教科書

なし。

参考図書

全科目攻略！ JLPT日本語能力試験ベスト総合問題集N2-言語知識(文字・語彙・文法)	五十嵐香子ほか	ジャパンタイムズ出版	1980	4789017826
日本語能力試験対策 これ一冊 N2	アスク編集部	アスク	1980	4866396709

その他

授業時にプリントや資料を配布する。

授業計画

- 第1回 オリエンテーション
 予習内容：シラバスの熟読(60分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(180分)
- 第2回 文字・語彙
 予習内容：事前に配布する資料について、わからない語句の読み方や意味を調べておくこと(120分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(120分)
- 第3回 文法
 予習内容：事前に配布する資料について、わからない語句の読み方や意味を調べておくこと(120分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(120分)
- 第4回 聴解
 予習内容：事前に配布する資料について、わからない語句の読み方や意味を調べておくこと(120分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(120分)
- 第5回 読解
 予習内容：事前に配布する資料について、わからない語句の読み方や意味を調べておくこと(120分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(120分)
- 第6回 文字・語彙
 予習内容：事前に配布する資料について、わからない語句の読み方や意味を調べておくこと(120分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(120分)
- 第7回 文法
 予習内容：事前に配布する資料について、わからない語句の読み方や意味を調べておくこと(120分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(120分)
- 第8回 中間試験
 予習内容：中間試験に向けて、これまでの授業内容への理解を深めること(150分)
 復習内容：中間試験で、不十分だったところ箇所を復習すること(90分)
- 第9回 聴解
 予習内容：事前に配布する資料について、わからない語句の読み方や意味を調べておくこと(120分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(120分)
- 第10回 読解
 予習内容：事前に配布する資料について、わからない語句の読み方や意味を調べておくこと(120分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(120分)
- 第11回 文字・語彙
 予習内容：事前に配布する資料について、わからない語句の読み方や意味を調べておくこと(120分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(120分)
- 第12回 文法
 予習内容：事前に配布する資料について、わからない語句の読み方や意味を調べておくこと(120分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(120分)
- 第13回 聴解
 予習内容：事前に配布する資料について、わからない語句の読み方や意味を調べておくこと(120分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(120分)
- 第14回 読解
 予習内容：事前に配布する資料について、わからない語句の読み方や意味を調べておくこと(120分)
 復習内容：授業で理解の不十分であった箇所を中心に復習し、不明瞭な点がないかを確認する。(120分)

授業形態（アクティブ・ラーニング）

○ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
□ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
□オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

流通科学大学の定めるディプロマポリシー「知識を知恵に転換することができる、論理的思考力を持った人材」や「自主・自立の精神を持った人材」の育成にかかわっている。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考